

【第31回】e-株主リサーチ 個人投資家モニターアンケート

**損切り基準を設定して投資している個人投資家は1割台と少数派
投資銘柄は新聞で見つけ、「株主優待」「購入価格」「配当利回り」を確認**

IRコミュニケーション支援の株式会社エーツメディア (<http://www.a2media.co.jp>) は、個人投資家と上場企業を繋ぐコミュニケーションツールであるe-株主リサーチを使った個人投資家モニターアンケートを毎月実施しています。アンケートの結果ダイジェストは以下の通りです。

■ 損切り基準を設定して投資している個人投資家は少数派

株式投資を行う際に、損切りの基準を設定しているかたずねたところ、「設定している」13%、「設定していない」87%と損切り基準を設定していない投資家が大半であることが分かった。投資志向（保有期間が短期か長期か）により基準設定の有無が異なると仮定できる。そこで、投資志向別に結果を詳しく見たところ、短期である1ヶ月以内保有が多いグループ（9%）でも、「設定している」26%、「設定していない」74%と、4分の3が設定していなかった。さらに、保有期間が長いグループほど損切り基準を設定しておらず、5年以上保有するグループ（23%）では、設定者は3%と非常に少なかった。投資志向によって多少の差はあったが、大勢を見れば「損切り設定していない」投資家が多かった。「信用取引」利用者でも同様の結果で、損切り基準を設定していない投資家が多数だった。

さらに、「損切り基準の設定」と「投資損益」の関係を見た。基準を設定しているグループは「含み益がある」17%、「とんとん」15%、「含み損がある」67%だったが、基準を設定していないグループは「含み益がある」11%、「とんとん」8%、「含み損がある」80%と、「含み損がある」投資家が多い中で、損切り基準を設定するのは「効果がある」ようだ。

■ 投資銘柄は新聞で見つけ、「株主優待」「購入価格」「配当利回り」を確認

個人投資家の投資行動パターンについて尋ねた。投資対象を検討する「情報源」は、「新聞」53%、続いて「雑誌」38%、「金融系ウェブサイト」31%だった。ウェブサイトよりもまだ印刷物である新聞・雑誌が有効であるといえよう。気になった銘柄を投資対象とする判断基準は、「株主優待」70%、「購入価格」65%、「配当利回り」62%が上位だった。先月の調査でも「株主優待」は重視されており、個人投資家の「株主優待」志向は根強いことを裏付ける結果となった。売買の際に確認するのは、「株価動向」75%、「株式市場の動向」41%、「チャート分析による結果」「業績・開示情報」各40%が上位だった。実際の売買の場では、他人の言葉よりも自分の情報分析を信じているといえよう。

個人投資家の投資行動パターンを集約すると、「新聞で銘柄を発見し、株主優待・購入価格・配当利回りのチェックを行い投資対象となるようであれば、自ら株価動向を確認して購入」という、古典的とも言える従来型の行動が浮かび上がってくる。ネット時代であっても、最後は個々人のデータ分析が命だと考えているといえよう。

■ 個人投資家が予想する来月の日経平均・円ドルレートは株高・為替は現状維持

毎月実施している1ヵ月後（12月21日）の日経平均株価予想は「10,000～10,500円未満」（32%）が最も多い。アンケート開始時の終値（10,115円）を軸に見ると、上昇48%、横ばい32%、下落20%と強気であった。円ドルレート予想では、「84～86円」（33%）が最も多く選ばれた。アンケート開始時の円ドルレート（83.27円）を軸に見ると、円安26%、横ばい33%、円高43%と円安志向が強かった。

前回予想の結果：日経平均は11月半ばに9,800円台と、前回調査時（9,400円台）から約400円上昇となった。個人投資家予想では、「9,500～10,000円」41%が最も多く選ばれており予想は的中となった。円ドルレートは、11月半ばに83円台となり、前回調査時（81円台）から2円円安。個人投資家予想は、「80～82円」26%が最も多く選ばれており、予想は外れとなった。

以上

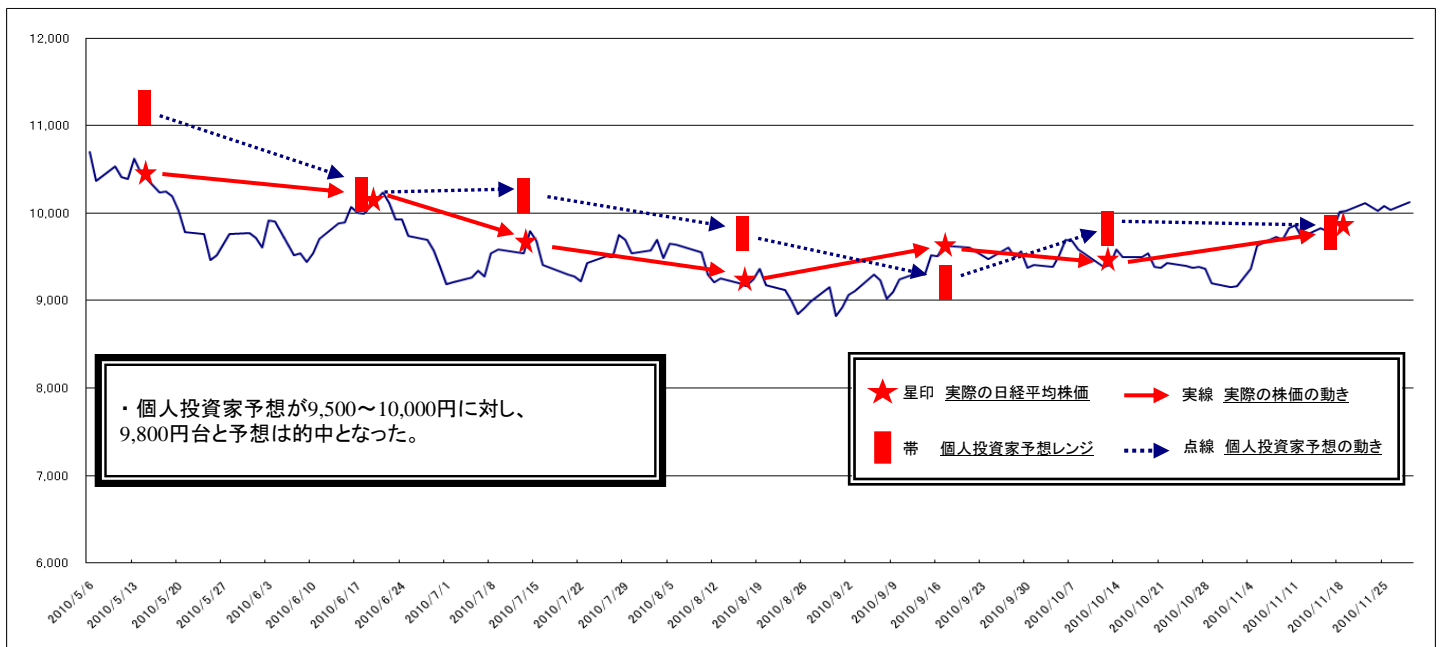
詳細結果やグラフは下記弊社ホームページに掲載しております。
ホームページはこちら⇒ <http://www.a2media.co.jp/e-kabunushi/monitor/>

<調査概要>

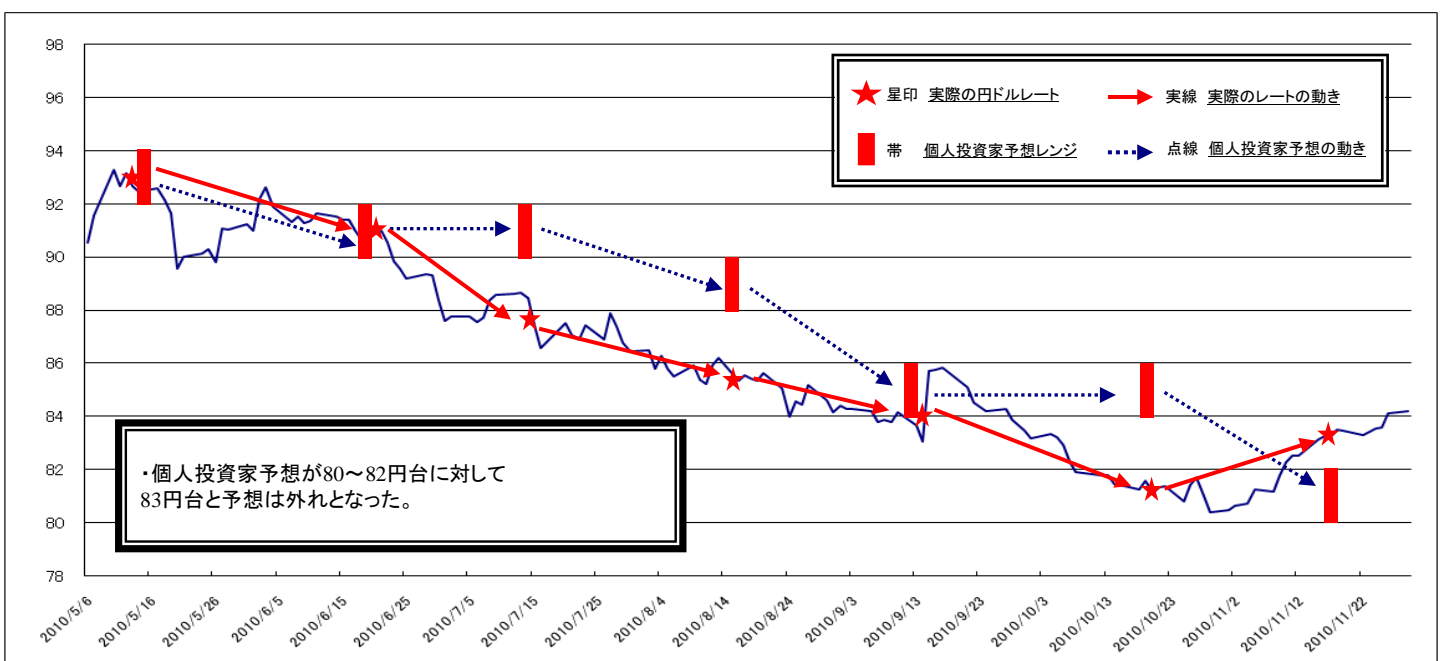
調査方法：インターネットを利用したアンケートリサーチ
 調査対象者：(株) エーツメディアのe-株主リサーチモニター会員
 調査期間：2010年11月22日～2010年11月28日
 集計回答人数：388人
 調査項目：

- 1.性別 2.年齢 3.職業 4.個人年収 5.株式投資歴 6.保有株式数 7.投資資金 8.ウォッチ銘柄数 9.投資志向 10.信用取引利用経験 11.投資先検討の情報源 12.投資先検討時の確認点 13.購入時の判断の決め手 14.損切りの基準を設定しているか 15.設定した基準を守っているか 16.(回答時点での)損益状況 17.1ヵ月後(12月21日)の日経平均予想 17.1ヵ月後(12月21日)の円ドルレート予想 18.アンケートで聞いて欲しい設問 19.今回のアンケート設問への興味

<個人投資家 日経平均株価予想 結果グラフ>



<個人投資家 円ドルレート予想 結果グラフ>



<第31回目アンケート回答者属性>

- 性別/男性84%、女性16%
- 年代/29歳以下4%、30代24%、40代30%、50代18%、60代19%、70歳以上6%
- 職業/会社員44%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員13%、自営業7%、パート・アルバイト・フリーター5%、専業主婦5%、学生1%、無職・定年退職19%、その他3%
- 個人年収/100万円以下10%、100～300万円未満19%、300～500万円未満25%、500～700万円未満23%、700～1,000万円未満16%、1,000～2,000万円未満6%、2,000万円以上1%
- 投資歴/1年未満0%、1～2年未満3%、2～5年未満17%、5～10年未満33%、10～20年未満27%、20年以上20%
- 保有銘柄数/1銘柄2%、1～5銘柄12%、5～9銘柄14%、10～19銘柄24%、20銘柄以上48%、現在は保有していない0%
- 投資資金/50万円以下3%、50～100万円以下7%、100～300万円未満17%、300～500万円未満16%、500～700万円未満8%、700～1,000万円未満10%、1,000～2,000万円未満20%、2,000万円以上18%

<e-株主リサーチモニター属性>

母集団属性（2010年10月31日現在）

- 性別/男性76%、女性 24%
- 年代/29歳以下3%、30代22%、40代28%、50代21%、60代18%、70歳以上8%
- 職業/会社員45%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員10%、自営業8%、パート・アルバイト・フリーター4%、専業主婦10%、学生1%、無職・定年退職14%、その他3%

< e-株主リサーチについて >

(株)エーツメディアが実施する個人株主を対象としたインターネット調査。3つのサービスを提供しています。

1. e-株主リサーチ

上場会社が主に本決算・第2四半期（中間）決算期に個人株主向けに配布する年次報告書内にてアンケート告知を行い、インターネットサイトに誘導し回答するシステム（携帯電話でも回答可能）です。IR担当者はリアルタイムで回答状況を把握できるだけでなく、同時期に実施している他社の結果と比較しながら自社結果を閲覧することができます。従来までのはがきを利用した株主向けのアンケートに比べ、劇的なスピードアップとコストダウンを実現。上場企業約433社の採用実績あり（2010年8月31日現在）。

2. e-株主リサーチモニターアンケート

e-株主リサーチ回答者に対してモニター会員の登録案内を行い、現在約17,000名（2010年8月31日現在）が登録しております。時事問題やトレンドをテーマに、個人投資家モニターの考え方や意見について定期的に調査を実施中。

個人株主の実態や企業のIR活動への要望などを分析し、個人株主と上場企業のコミュニケーションの円滑化図っていきます。

3. e-株主フェア

オンラインで実施する個人投資家向け会社説明会です。e-株主リサーチモニターを中心に来場案内を行いますので、投資経験豊富な個人投資家にアピールすることが可能です。また、会社説明閲覧後にはアンケートを実施しており、個人投資家のホットな声を直接聞くことができます。個人投資家コミュニケーションの場としてご活用いただけるサービスです。

< 株式会社エーツーメディアについて >

会社概要

会社名：株式会社エーツーメディア

URL：<http://www.a2media.co.jp>

所在地：東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル7F

設立日：2002年8月8日

資本金：6,230万円

代表者：代表取締役社長 永山 均

事業内容：IR企画・制作、年次報告書・アニュアルレポート・会社案内作成、IRサイト・コーポレートサイト構築、映像メディア作成、事業会社向けインターネットマーケティング、コンサルティング、コールセンターの受託運営、テレマーケティング業務の受託

事業概要：株式会社エーツーメディアは、ディスクロージャービジネスの大手、株式会社プロネクサスのグループ会社としてEnhanced IRを企業理念にIR活動を支援しています。Enhanced IRとは、さまざまなマーケティング手法を駆使し、IR活動の領域を広げることで、顧客企業の投資家を中心にステークホルダーへのプレゼンスを改善・向上していこうという考えです。

株式会社エーツーメディアは、e-株主リサーチやe-株主モニターアンケートの結果などを多方面からの情報を連動させ、独自の知的アセットを構築し、市場の求めるメディアのあり方を模索していきます。